

1 電源接続:

PHS300をセットアップするには箱を開けます。電源アダプタを最初にルータに挿入し、次にアダプタをコンセントに挿入します。電源ジャックの横にあるスイッチをONにします。



クイックスタートガイド

2 デバイスの接続:

起動したUSBデバイスをUSBホストスロットに挿入します。サポートされている以下のデバイスを使用してください。

イー・モバイル株式会社 D02HW/H11T
(2008年10月現在)

注: USBモデムタイプ (D02HW/H11T) は回線申込時に別途ご購入ください。

イー・モバイル株式会社の端末(2008年11月現在)
D01HW/D02HW
S11HT/S12HT/S21HT
H11HW
H11T



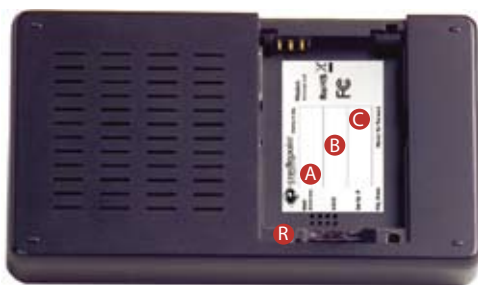
3 WiFiへの接続:

WiFiネットワークカードを使用してPHS300に接続します。WiFiを使用した接続方法は裏面をご参照ください。



LEDの状態:

- 電源
 - ON - 緑色
 - 充電中 - 黄色
- ネットワーク接続
 - 接続済み - 緑色
 - 黄色 - 接続中
 - または停止
- WiFi LAN (WLAN)
 - On - 緑色
 - 赤 - 無線ハードウェアエラー



ラベル情報

- MACアドレス
デフォルトパスワードはMACの最後の6文字
- ネットワークID (SSID)
ルータが作成したWiFiネットワークのデフォルト名
- シリアル番号
ルータのユニークな識別子

部品リスト:

- PHS300ルータ
 - リチウムイオン電池
 - 電源アダプタ
 - クイックスタートガイド
 - 保証規定/製品登録カード/安全にお使いください/電波干渉の注意点
- ※かならずお読みください

注:以下の操作によってルータに対して行ったすべての設定と変更が消去され、すべてのパスワードと設定が工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

ファームウェアの手動更新

- 日本語版は、<http://cmtrshop.com/cradlepoint/techsupport/phs300support.html/> から該当するファームウェアのダウンロードとその更新方法をご参照ください。英語版は、www.cradlepoint.com/support から該当するファイルをダウンロードします。
- ルータをWiFiに接続します。
- ルータのログインページ (<http://192.168.0.1>) に移動します。
- 最上部の[ツール]タブを選択し、左側の[ファームウェア]を選択します。
- [ファームウェアのアップグレード]セクションで[参照]をクリックします。
- ダウンロードしたファイルを検索し、[開く]をクリックします。
- アップロードボタンをクリックします。
- アップグレード中は電源をOFFにしたり、電源コードを抜かないでください。
- アップグレードプロセスには数分かかります。

工場出荷時の設定にリセット

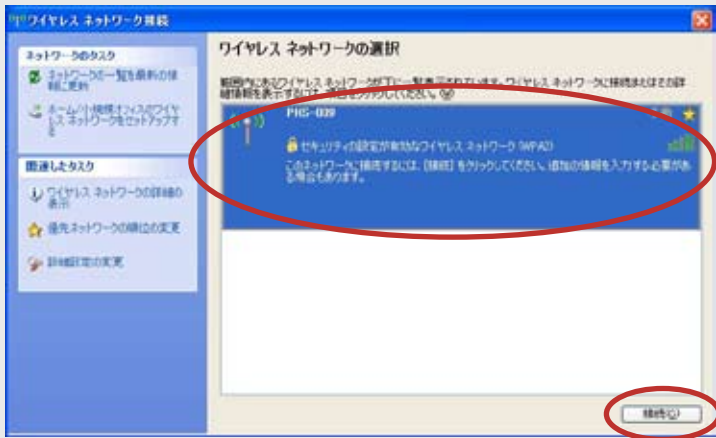
- ルータの電源をかならず切り、電源コードが挿入されていることを確認してください。
- バッテリー格納スペース内のリセットボタン (図中の **R** マーク) を押して、そのままの状態を維持します。
- リセットボタンを押したまま、デバイスの電源を投入します。
- LEDが点滅したら (10秒) リセットボタンを放します。
- ルータが再起動し、デフォルト設定で使用できるようになります。

4 ワイヤレスネットワークへの接続:

Windows XPの場合、[スタート]->[接続]->[ワイヤレスネットワーク接続]をクリックします。

[ワイヤレスネットワーク接続]が表示され、使用可能なワイヤレスネットワーク接続を参照できます。CradlePointルータを選択し、[接続]をクリックします。

注: ネットワーク名またはSSIDはルータのラベルに記載されています。



これでPHS300のワイヤレス接続が完了しました。

この時点で手順5に進んですぐにインターネットにアクセスするか、手順6に直接進んでWEPまたはWPAなどのワイヤレスセキュリティ機能をセットアップすることができます。

5 インターネットへのアクセス:

Webブラウザを開き、<http://www.cmrshop.com/cradlepoint/> または、<http://www.cradlepoint.com>など任意のWebサイトに移動します。インターネットアクセスのパスワードを求められます。デフォルトのパスワードはMACアドレスの最後の6文字です。MACアドレスは、ルータの裏側かルータのバッテリー格納スペース内に記載されています。

パスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

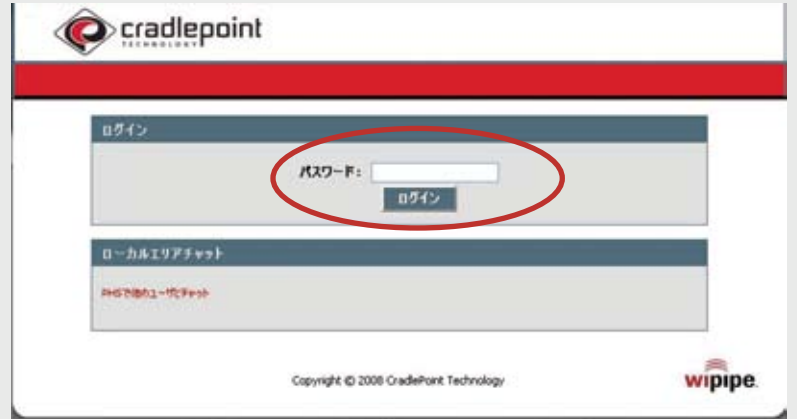
次の画面で[オートログイン]ボタンをクリックすると、ルータのファームウェアを更新するか、工場出荷時の設定にリセットするまで、ログイン情報が記憶されます。



6 WiFiセキュリティのセットアップ:

ルータへの接続後、WiFiのセキュリティを有効にすることができます。そのためには、ブラウザを開き、ルータのIP (192.168.0.1) をアドレスバーに入力します。

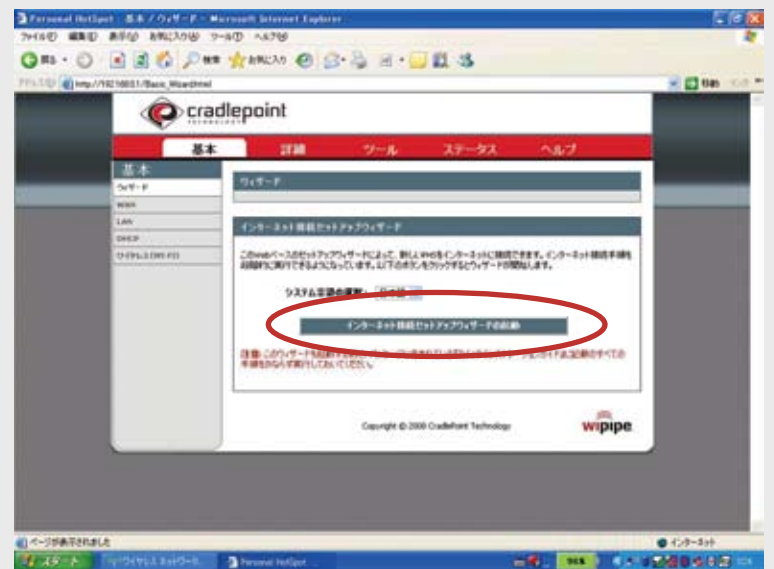
セットアップページが表示されたら、管理パスワードを使用してログインします。デフォルトのパスワードはMACアドレスの最後の6文字です。



ルータにログイン後、セットアップウィンドウの最上部にある[基本]メニュータブをクリックします。次に、画面中央の[セットアップウィザードの起動]ボタンをクリックします。

ウィザードの手順に従ってセットアップを完了します。

セキュリティのセットアップ完了後、手順6に進んで、セキュリティを強化したインターネット接続を利用します。



ウィザードの実行中に、ルータの設定がいくつか変更されます。インターネットへのアクセス前に手順4を繰り返す必要があります。

これでルータのセットアップが完了しました。詳細は、ルータの設定ページのヘルプ、または<http://www.cmrshop.com/cradlepoint/>あるいは、www.cradlepoint.com/supportのサポートWebサイトをご参照ください。

製品サポートについては、
<http://www.cmrshop.com/cradlepoint/>
または、
www.cradlepoint.com/support をご参照いただくか、
phs300support@commuture.com 宛にお問合せください。



VCCI (情報処理装置等電波障害自主規制協議会) および米国 (FCC) ステートメント:



この製品は、日本国内では情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の技術基準 (クラスB) の許容値に適合しております。また、米国のFCC規定のPart 15に準拠したClass Bのデジタル装置としての基準に準拠していることが確認されています。この基準は、住居地域での設置による有害な干渉を防止するためのものです。ただし、特定の設置環境でこの種の妨害が発生しないという保証はありません。この製品によってテレビ受信装置への有害な干渉が発生した場合は (製品をON/OFF にして確認できます) 以下のいずれかの是正措置により干渉を回避することをお勧めします。

- 受信側のアンテナの方向または配置を変える
- 装置と受信装置の間の距離を離す
- 受信装置が接続されているものとは異なる回路のコンセントに装置を接続する
- 販売店または無線またはテレビ関係に精通した技術者へのご相談

CradlePoint, Inc.が明確に承認していない変更や修正を行うと、製品を使用する正当な権限を損なうことがあります。

電波法に規定するところにより、特定無線設備の技術基準適合証明等を取得しております。電気通信事業法の規定による、端末機器の技術基準適合認定等を取得しております。本製品は3G 携帯端末のUSB モデムタイプ (認定機器) の後位で使用するものです。同梱されているAC 電源アダプタは電気用品安全法の認定適用品です。